

Press Information

2004年12月02日
No.04-07

曙ブレーキ工業(株)中国広州で鋳入れ式を実施

曙ブレーキ工業株式会社（代表取締役社長：信元 久隆 本店：東京都中央区 本社：埼玉県羽生市）は、グループ初の中国拠点として10月18日に設立した現地法人：广州曙光制动器有限公司 [英語表記：Akebono Corporation (Guangzhou)]の建設地である広州永和経済区において、12月1日に最高気温27度という晴天の下、鋳入れ式を実施いたしました。

式典には曙ブレーキ工業(株)から代表取締役社長である信元久隆、「广州曙光制动器有限公司」の董事長である石垣吉広（曙ブレーキ工業(株)専務執行役員、中国事業準備室室長）他、akebonoグループ関係者に加え、資本参加する伊藤忠商事株式会社、建設を担当する株式会社フジタ、広州経済技術開発区の関係者にも参加をいただき、総勢60名が、これから本格的にはじまる工事の安全を祈願いたしました。

中国においては8という数字が大変縁起が良いことから、9時8分より式典を開始し、線香を立てる、金豚にナイフを入れる、獅子に目を入れるなどで神を祭る中国式「祭神」を経て、鋳入れ式、土寄せ式を行い、10時45分に無事式典を終了いたしました。

式典の挨拶において、信元からは関係者への感謝と合わせ、「現地調達率は当初から60%以上を目指している。現地の部品でユーザーニーズを的確に反映したブレーキを提供することで、2010年時点でドラムブレーキ年間150万個、ディスクブレーキ120万個を目指したい。中国には千里の道も一歩からという諺があり、本日は初めの一歩だが社名の通り、akebonoグループの希望の光になるよう期待している。」とのメッセージを發しました。

これまで日米欧三極の事業基盤確立に注力してきたakebonoグループにとって、新たなグローバル展開の重要な拠点となる「广州曙光制动器有限公司」は敷地面積：28,000㎡、建屋面積12,000㎡で、2005年7月に完成、8月より稼働を開始する予定です。

【ご参考：广州曙光制动器有限公司概要】

所在地	広州永和経済区
代表者	石垣 吉広（曙ブレーキ工業(株)専務執行役員、中国事業準備室室長）
出資比率	曙ブレーキ工業(株)50%、Akebono Corporation (North America) 30% 伊藤忠商事20%
設立年月日	2004年10月18日
敷地面積	28,000㎡
建屋面積	12,000㎡（工場棟：10,400㎡・事務棟：1,600㎡）
資本金	7.5百万ドル
投資額	2007年までに10.3百万ドルの投資を行う予定
生産品目	ドラムブレーキ（組み立て）、ディスクブレーキ（加工・組み立て）
生産開始	2005年7月予定
従業員数	約50名

【お問い合わせ先】

曙ブレーキ工業株式会社
経営企画部門 新井・細野
TEL：048-560-1503 FAX：048-560-2884

<添付資料>

